

第 68 回 小松市都市計画審議会 < 議 事 要 旨 >

開催日時	平成 26 年 8 月 26 日 (火) 14:00 ~ 14:50
開催場所	小松市役所 低層棟 3 階 議会説明者控室
出席委員	和田衛委員、西沢耕一委員、森俊偉委員、馬場先恵子委員、宮西健吉委員、宮川吉男委員、松本英好委員、竹田源太郎委員、酒井恵美子委員、綾美寿恵委員、北村澄江委員 (出席委員/11 名)
欠席委員	高見健次郎委員 (欠席委員/1 名)
事務局	(事務局/10 名)

1. 開 会 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ今より、第 68 回小松市都市計画審議会を開催致します。本日は、傍聴される方もいますので注意事項を申し上げます。静粛に、会議の内容が十分に拝聴できるようにしてください。傍聴人の発言は禁止致します。審議会の秩序を乱し、又は妨害となるような行為をしないで下さい。会議開始後の撮影、録音などは禁止致します。審議に入る前に、事務局を代表いたしまして都市創造部長から挨拶を申し上げます。
部長	<p>(挨拶)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改めまして、委員の皆様方には、お忙しい中、当審議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。 <p>平成 27 年 3 月に北陸新幹線が金沢開業し、木場潟で開催されます第 66 回全国植樹祭が来年の 5 月 17 日に決定したところです。</p> <p>今年 3 月 22 日に全館オープンした「サイエンスヒルズこまつ」、これにつきましては 8 月 12 日に、来館者 10 万人を数えることができました。</p> <p>また、北陸新幹線（金沢・敦賀間）につきましては、中心線測量が完了し、現在、構造物の概略設計が進められております。小松市を含む関係各者との打ち合わせが進められており、開業 3 年前倒しという目標に向けて進んでおります。</p> <p>委員の皆様には、引き続き活力ある都市計画行政に、ご支援・ご尽力を賜りますよう、よろしくお願い致します。</p> <p>さて、今日の審議は、下水道の変更ということで、昨年の集中豪雨を受けまして洪水対策のスピードアップを図るということで九竜橋川の雨水ポンプ場の能力増強を行うものです。</p> <p>詳細については、担当者より説明申し上げますので、委員の皆様方には、ご審議を賜りますよう、お願い申し上げます。どうぞよろしくお願い致します。</p>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回平成 26 年 5 月 29 日開催の第 67 回審議会の結果についてご報告します。 議案第 1 号ごみ焼却場の決定(小松市決定)について、7 月 1 日に告示となっています。 また、市街化調整区域の住宅建築許可要件の緩和について、当審議会に意見聴取した件については、6 月議会にて小松開発許可等の基準に関する条例が改正され、7 月 1 日より運用を開始しています。 ・ 本日の審議会は、下水道の雨水に関する変更、1 件です。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録の署名人を、宮川委員と西沢委員にお願い致します。 ・ 本日の審議会の議案について、事務局から説明してください。
2. 審議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議案第 1 号 小松都市計画 下水道の変更について（小松市決定） <ul style="list-style-type: none"> ＜事務局より議案説明＞
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市計画の変更については、下水道管渠の追加として、九竜橋川雨水ポンプ場からの「雨水放流管」を、その他の施設の追加として、「九竜橋川ポンプ場」面積の追加を行います。雨水放流管及びポンプ場は、都市計画法第 11 条第 1 項第 3 号により下水道の「都市施設」と定義され、同法第 11 条第 2 項により「種類、面積、位置及び区域を定めるとともに、面積その他政令で定める事項を定める様に努めるものとする。」とあり、今回決定をお願いするものです。 小松市は梯川の氾濫平野に形成された都市であり、本市の中心部は梯川と前川に挟まれた低平地帯に位置しており、周囲には水田地帯が広がっています。小松市の雨水計画について、市内全体を 66 の排水区に分けて計画されており、JR より西側に位置する旧市街地を「中央排水区」とし汚水と雨水を合わせた合流式下水道により整備を行っています。JR より東側に位置し、今回対象となる九竜橋川の流域の「九竜橋川排水区」として整備を進めています。 小松市の雨水計画諸元における降雨強度及び確立は計画の安全性を考慮して 10 年確立を採用しています。また、降雨強度公式は石川県河川課より提示されている値を採用しており、公式は金沢気象台の資料に基づき算定した基本式に補正係数を乗じて求めたものであり現在 10 年確立で時間降雨量 53.5mm を採用しています。 今回追加する九竜橋川雨水ポンプ場は JR 本線と国道 8 号に挟まれた、九竜橋川の流域 276.6ha の排水区域からの雨水を排除するためのポンプ場であり、一級河川梯川へ放流します。 九竜橋川排水区の周辺道路では、冠水等の浸水被害が頻発しており、都市化による排水能力不足分を補うため、ポンプ施設の増強が急務となっています。 今回「下水道管渠」および「その他の施設」を追加する箇所ではありますが、九竜橋川の下流に位置する小松市下牧町に「九竜橋川雨

水ポンプ場」の放流管の延長及びポンプ場面積を追加します。

都市計画変更の理由は、農業用の排水機場として整備された九竜橋川排水機場では都市化に伴う雨水流出量の増大に対応することができない状態となっており能力不足分を補うため、下水道事業のポンプ場を設置するものです。

小松都市計画下水道の変更については、「下水道管渠」として、九竜橋川雨水ポンプ場より放流される放流管約 30m を追加します。ただし、本施設については九竜橋川改修工事における移転補償工事において完成形となっており工事の実施の予定はありません。また、「その他の施設」として九竜橋川雨水ポンプ場を追加し今回決定面積 6,100 m²を追加します。

九竜橋川ポンプ場の整備については、流入きよ、ポンプ室、吐出水槽の 3 施設を予定しています。農水用の排水機場として整備された九竜橋川ポンプ場について施設の都市化による能力不足を補うため、今回既存のポンプ場の隣に新たにポンプ場を設置し、増設する 2 台の雨水ポンプのうち今回 1 台を整備し、併せて流入きよ、吐出水槽の整備を行います。

九竜橋川ポンプ場のポンプについては、既設ポンプとして平常時水質対策としてのポンプ 1 台及び、雨天時の洪水ポンプ 1 号、2 号の計 3 台があり雨天時の排水能力は現状で 1.75 m³/s が 2 台の 3.5 m³/s の能力があります。今回洪水ポンプ 3 号、4 号を増設することにより毎秒 3.5 m³から 8.06 m³/s の増設を計画しており当面は洪水ポンプ 3 号を増設し全体で 7.06 m³/s の能力を有するように計画しています。また、洪水ポンプ 4 号については、雨水幹線の整備にあわせて将来増設する予定となっています。

経緯と予定については、平成 26 年 1 月に地籍である下牧町町内会に地元説明会を、平成 26 年 2 月から 7 月にかけて関係機関協議として、国土交通省金沢河川国道事務所、石川県水環境創造課、北陸農政局と協議調整を行っています。平成 26 年 8 月 8 日から 22 日の 2 週間計画案の縦覧を行い意見書などの提出はありませんでした。今後の予定として 9 月上旬に石川県知事協議、9 月中旬に都市計画決定告示を予定しています。

九竜橋川ポンプ場の整備については、本日の都市計画審議会を経て告示を行ったのち、法手続きとして、都市計画事業認可及び下水道法事業計画の変更を行います。承認を頂いたら今年度中に九竜橋川雨水ポンプ場の実施設計業務を発注する予定としています。工事の実施については、平成 27 年度から 28 年度に 2 ヶ年でポンプ場の土木・建築工事を行い、平成 28 年度から 29 年度の 2 ヶ年で機械・電気設備工事を行う予定としています。建設事業費は概算事業費ベースで、約 11 億円としています。

(意見、質問及び事務局回答)

委員

・説明の中で 10 年確立降雨強度についての説明がなかったのですが、

事務局	<p>この説明をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 10年確立降雨強度公式については、「I10」というのが10年確立で53.5mm/h。「t」というのは、到達時間という内容で、流下時間プラス流入時間という内容です。流下時間というものは、下水道や側溝の管渠に水が流れてそれが到達する時間。流入時間というものは、表面排水が側溝に流れる時間。というものを時間計算して公式として求めています。流入地区の道路の状況、土地の状況、例えば道路ですとアスファルトですし、土地の状況ですとコンクリートになっているところや土になっているところ等で、流出係数を決めて流入時間を設定する。道路等の地表面に雨が落ち、側溝、下水道の管渠を通り最終的に河川に流れますが、その時間を計算するのが「t」です。
委員	<ul style="list-style-type: none"> この説明では素人は分かりにくいのではないか。これだけの雨量が降って、これだけの対応ができる管を入れるとか、そういう一般市民に分かり易いように説明してください。今はその下水道の公式を聞いているのではなくて、一般的にどういう程度まで対応できるのかを説明して頂けると分かり易いです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> こちらの方に平成25年7月29日の集中豪雨ということで写真を載せていますが、これについては時間雨量41mmの雨が降っています。この時の雨に対して、計画上は53.5mmの計画値ということで、現在の計画の方が余裕がありますので、最低限でも41mmの雨、今年の豪雨に対しては対応できるという計画になっています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ということは、53.5mmの雨まで対応できる施設を整備したいということなのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> はい、そういうことです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> そんな風に説明して頂けると分かり易いのでよろしくお願い致します。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 後、昨今50年に一度の雨ということがよく報道されていますが、そのために将来増設するものも先に準備もしておこうということなのか、増設予定というのは、要するに排水機場のポンプを将来増設します。しかし、用地買収とそれは確保しときますよ。ということじゃないかと理解しているのですが。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> そのことについては、最終計画で53.5mm今の最大の洪水4のポンプまでで対応するものですので、それ以上のものについては現時点での計画には入っていません。
委員	<ul style="list-style-type: none"> それならば早急に2つともしなければならないのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 現時点では予算上の措置もありますが、順次整備をしていく予定ですが、いっぺんに残りの8.06m³というのは、段階整備の中で計画しているので、当然残りのポンプについても整備の予定をしていますが、早急に3.06m³を整備させて頂きたいと、都市計画決定については全体を今整備して、工事についてはスケジュールを立ててやっていくつもりです。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 3番のポンプを増設するわけで、これは毎秒3.56m³の能力があると

事務局 委員	<p>ということになっていますが、1時間あたりどれだけの量まで上がるのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在は1時間 53.5mm もできないということなのか。 ・そういうことです。 ・増設するものが2つあり、1つはまた後から増設しますということでこれが全部完成して 53.5mm が処理可能ですということで、ですから早急に2つともしなければならぬのではないかという意見があったわけです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・水は最終的に梯川へ流れ日本海へ流れる、要は梯川の水位が一番の問題だと思うのですが、何年前か前に木場潟周辺の田んぼが冠水しましたが、なぜかという前川の排水機場の排水を止めた、それは梯川の水位が上がって排水できなかった。これもまた一緒なことになるかと思うのですが、沢山雨が降って梯川の水位が上がった時には、いくらポンプの能力が上がっても、堤防を越えるようなことになったら排水機場を止めなければならない。梯川の整備は迫いつているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・梯川の整備については、国土交通省に確認したところ、まず今の放流管の放流口から河口のところは、計画水位を流すための整備は終了しています。今年度については、小松天満宮のところの整備、能美白江地区の整備を順次行っており引き続き整備を実施し、完成断面には現在至っていませんが、下流側については完成していると回答を頂いています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・曲がったところをまっすぐにするなど、いろんなことをすると聞いているんですが、去年の7月29日私のところの施設も梯川の横にあるのですが、見事に冠水して非常に被害を受けたんですけど、その時にいろいろ聞いたのですが、周辺の水は、水位が上がったら全部排水できなくストップすると聞いていたので大丈夫かなと、こういうポンプが能力があっても大丈夫かなという風に思うのですが、整備がおいつているということであればそれはそれでいいのですが。非常に気になる場所なので確認したんですけど。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプの増設なのですが、当然その九竜橋川自体の改修もしないとポンプを増強しても引っ張る能力がないので、現状の能力、九竜橋川の能力と既存のポンプの関係というのは、それはポンプをフル回転した時に九竜橋川の現在の断面でなっていくのかどうかということと、今ポンプを増強することによって九竜橋川の断面というものをどれだけ要するのか、それがどこまでセーフになっているのか、それとポンプ増設の兼ね合いについて教えてください。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在九竜橋川、特に空港軽海線の横については流下能力 11.56 が確保されていません。つまりまだ小さい断面であり、場所によって変わりますが大体平均して、約 8.0t 前後と見積もっています。ですので、11.56t のポンプを整備した場合、ポンプの能力はあるんですが水路が追いついてこない。ポンプの前だけ空っぽになってしまうという現象がありますので、今回暫定整備として 3.5t 整備する一つ

	<p>として現有排水路の能力を最大限に引き出すということで3.5tを先行整備させます。既に計画は一部動いてはいるのですが本年度こまつの杜の横の九竜橋川の水路断面の低部が不正形で、上流が深くて、途中の中が高く、下流に行くと深くなる、要は水の流れがひっかかるとるという状況がおこっている、こちらに関しても今年度より着手して、九竜橋川排水機場の完成までにはこの問題も解決させる予定となっております。その後暫時水路に関して断面修正を行いまして、その暁には最終的に11.56tのポンプを整備するという方針としていますが年次的計画はまだ不明な部分もありますのでご了承ください。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 既存のポンプ1、2とあるのですが、これはいつ頃建設されたものなのか。その時の九竜橋川の排水区は何haで1と2は作られたのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ポンプの整備については、農業用の排水機場として昭和39年に整備されており、その時は農業用の排水機場ですので一部農地の冠水を認めるというような計画で全体の排水機面積としては277haという風な当初の計画となっています。実際今のポンプにつきましては、国土交通省の河川改修に合わせて現在の場所に移転されたのでポンプについては更新されています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 両方とも昭和39年に整備されたのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省の移転補償で平成19年に今の場所に移転していますので平成19年完成ということになります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 受益面積なんですけど、当初と現在では田んぼの面積はどれだけ減ったのか。土地の利用形態が変わってきているということで田んぼの面積が減ってきていると思いますが、田んぼは大切な貯水池としての大切な役目を果たしているということは間違いのないと思いますけど。その中に都市計画情報として、田んぼ面積が減るとのあれば必ずその、能力以上の排水ができないということはわかると思いますが、そういうことを踏まえながらやっていかなければならない、今回時間53.5mmを想定した上での設備だと思えます。これについては理解されるのですがやはり田んぼの面積が減っているということになれば対応もきちっとしていかなければ、その辺も整合性を考えた都市計画をやって欲しいと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> わかりました。田んぼの面積がどれだけ減少したかについては、資料を持ち合わせていませんので次回までの報告とさせて頂きたいのですがよろしいですか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> はい
委員	<ul style="list-style-type: none"> この工事をすれば木場潟周辺の洪水はなくなるのですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 木場潟周辺の排水区は今回とはまったく違った排水区なのでそちらについては順次整備するということになります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> そしたらあの近辺は今までと同じく水に埋もれるということなんですね。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 順次計画的に整備していきたいと考えています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> メリットは全然ないのですね。

事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の審議に関する点では、影響はないと。 ・都市計画としての下水道の変更なんですけど、当然その九竜橋川排水区の流域全体の中で、九竜橋川の川幅を広げるとか、流域貯留槽とか、そういう総合的な中でポンプの増設があるのか、九竜橋川の河川断面の拡幅とポンプの増強だけでこの九竜橋川排水区の10年確立の降雨に対応できるのかその辺は、総合的に色々検討した上で下水道のポンプを増設するのか。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な検討の上で現状で浸水している箇所、育成町や宝町といったところで浸水被害にあっていますので、そういう面も解消するためにポンプの増強を図るもので、最終的には総合的に流域での計画になります。 ・下流域は効果があると思いますが、上流域での効果は果たしてそこまでいくのかと思います。そういう時に流域で一時的に貯留施設を設けた上での九竜橋川の拡幅なりポンプの増強だとかそういうことを聞きたいのですが。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・それについては今後ポンプの増強と合わせて検討していく予定になっていますが、現時点でどこがどうという説明はいたしかねます。 ・ポンプ場の整備能力の一覧表を見てまして、今までは常時と洪水1と洪水2のこれだけの処理能力で3.5+0.5で大体4.0 m³/秒のこれでやってきて何度か浸水被害が起きたと。こういった中で、洪水3の3.56 m³の処理能力をプラスするというのは、およそ倍程に処理能力を増やしたということで、さらにその後4.5をとということは2倍から3倍までの処理能力にする予定であるということが素人目から見るとそんなに必要なのかなということが理解出来ていないというような感想です。それまで洪水にあったのは直さなければならぬと思いますが、その時に倍の処理能力が必要ですよというよりも更に将来的には洪水4までの処理能力3倍までの能力が必要というところをわかり易く説明して欲しいと思いました。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・常時ポンプと洪水1のポンプについて、常時ポンプについては、雨天時には作動せずに常時晴天時について水質の改善を目的としたポンプです。雨天時については、洪水1、2のポンプが作動して現有能力として3.5 m³持っています。今回3.5といことで実質倍になります。これについては、計画降雨に対しては11.56が計画降雨での対応となります。昨今のゲリラ豪雨と予測を超えるような雨もありますので、計画として1基先行して整備するような形で考えています。 ・前は必要だろうということで今後さらに3.5倍程にしていく必要性というところが理解できないなということです。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・それについては、今後の気象情報を見ながら整備の妥当性も含めて検討していきます。 ・必要性があるということを念頭にいれてどこまでやるか検討していくという風に考えればよろしいですか。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・はい ・事前にもらった資料なのですが、そこに調整池とありますが、洪水

事務局	<p>1, 2 に溜めるためのものなのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議案書の折込の総括図（雨水）についてですが、現在中央排水区で汚水と雨水を一緒に処理している中央排水区での調整池の計画でありまして、大雨が降った時にこちらに一旦溜めて、雨が引いた時に強制的にポンプで排出するという調整池の計画です。現時点では、小松駅前調整池のみを整備してこれから順次必要に応じて検討しながら整備を進めるということになります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・これは地下に溜まるのですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前調整池については、旧大和跡の地下に整備しています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のところにそこらじゅうに計画されているのですが、、、
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・公共用地としての敷地が必要になりますので、公共用地等を優先的に配置する計画にしています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所に小学校とかが指定されていて同じところに水も集まってくる計画なのかなと、地下で溜まって、溢れて浸水しないのかなと、、、
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場を調整池と考えているみたいに、地表に水が溜まるという考え方ではなく、地下に水槽があつてということなのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・地下に水槽があるという考え方で整備の計画を立てています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・集めてくるところ、経路、排出先、全部連動しており、そこを全て解決していかないと数字は流れないですね。なので、ここに出ている年度計画はそういう絡んだとこ全部が解決していく見通しを含めた年度計画という風に理解すればいいのか。土地の買収なども絡むんだらうと思うのですが、できるだけ情報を公開できるようにしていかないと、なかなか皆さん納得できないところもあるのではないかなという風に思います。更に洪水 4 の計画ですが、これは将来増設ということになってはいますが、これも必然性の有無、将来計画の見通しみたいなものを、目標年度を明確にしていかなければいけないかなと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・排出先、ポンプ、水路の整備等一体となって整備を進めていく必要があると認識しています。ポンプの整備に併せて、こまつの杜の横の排水路の整備も計画しております。排水については下流側より順次上流側に向かって整備する必要があると考えていますので計画的にやっていきたいと考えています。将来計画の洪水 4 のポンプについても計画を持って皆さんにお示しできるような形で検討の結果を報告させていただきます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今後都市計画上、梯川周辺のポンプ場はかなり老朽化しているところもありますし、地元からポンプアップという話もありますから、それも今後 1 つの計画に入れて今後の対策を考えてもらいたいと思います。
事務局	<p>(採決をお願いします)</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・この議案第 1 号について、原案どおり承認することに異議はありま

3. 閉会 事務局	<p>せんか。 (異議なし)</p> <ul style="list-style-type: none">・異議なしという発言がありましたので、本件については、議案第 1 号は原案どおり承認させていただきます。・議事進行についてご協力ありがとうございました。 <p>・会長ありがとうございました。これもちまして、第 68 回小松市都市計画審議会を終わります。</p>
--------------	--